

白神山地の新たなシンボル マザーツリー後継「白神いざないツリー」

東北森林管理局 津軽森林管理署

はじめに

白神山地は、青森県南部と秋田県北部に広がる、約13万haに及ぶ広大な山地帯の総称であり、このうち東アジア最大の原生的なブナ林が広がる約1万7千haが、1993年（平成5年）に世界自然遺産に登録されました。登録地域の北東に位置する津軽峠付近には、推定樹齢400年以上とされるブナの巨木があり、津軽森林管理署は、2000年頃にこの巨木を「マザーツリー」と命名しました。その後、当局による遊歩道、案内標識等の整備や、青森県



台風以前の「マザーツリー」 2018年撮影



枯死発表時の「マザーツリー」 2024年撮影

による駐車場・トイレの整備を行ってきたところ、徐々に来訪者が増え、マザーツリーは人気の観光スポットになりました。白神山地の象徴的な存在として親しまれてきたマザーツリーでしたが、時の経過とともに樹勢の衰えがみられたため、民間ボランティアによる土壌改良などの策が講じられました。しかし、2018年9月の台風により幹が折損して以降、急激に樹勢が衰退し、2024年には春の芽吹きがなくなことから、樹木医により「枯死」と診断されました。この発表は多くのメディアに取り上げられ、「大変残念に思う」などの声が寄せられるなど、大きな反響がありました。

管内概要

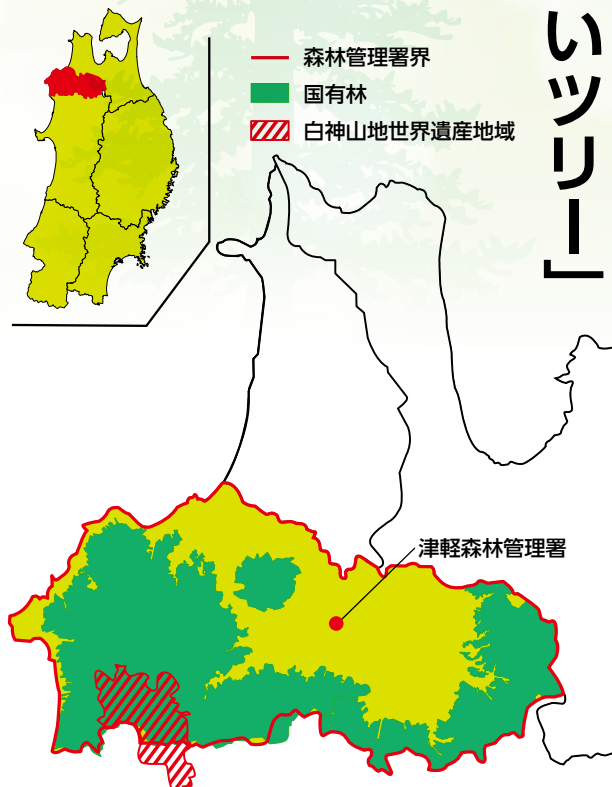
所在地 青森県弘前市豊田2-2-4

区域面積 247,664ha
うち森林面積 175,926ha
うち国有林面積 128,365ha

関係自治体 【3市3町1村】弘前市・黒石市・平川市・大鰐町・鰺ヶ沢町・深浦町・西目屋村

津軽森林管理署は、青森県津軽地方のうち、弘前市など3市3町1村にまたがる地域を管轄しています。地域の森林面積は175,926ha（森林率69%）で、うち国有林は、128,365ha（国有林率75%）であり、スギ、カラマツ、アカマツ等の人工林が38%、ブナ、ナラ、ヒバ、アカマツ等の天然林が62%をそれぞれ占めています。

管内では木材の安定供給のほか、弘前市民の水源地や農業用水の供給源としての森林整備、世界自然遺産である白神山地の貴重な自然環境の保全、津軽十二湖自然休養林や岩木山・鰺ヶ沢スキー場での森林レクリエーションの場の提供など、森林の多面的機能を一層発揮させる取組を進めています。



後継シンボルツリーの 選定

マザーツリーが枯死したことを受け、当署では国有林として引き続き地域振興に貢献するため、新たなシンボルツリーの選定に着手しました。西目屋村と相談を重ねながら、後継シンボルツリーの選定にあたって、①マザーツリーに準ずるブナの巨木であること、②樹勢の衰えがみられないこと、③アクセスが良いことの三点を重視し、地元のガイド団体等からも情報収集しつつ、現地調査を行った結果、推定樹齢300年、樹高約27m、幹まわり約4mのブナを後継シンボルツリーとして選定しました。

後継シンボルツリーの 呼称の募集と決定

後継シンボルツリーの呼称については、マザーツリー枯死発表時の大きな反響を踏まえ、広く募集することにしました。募集のポスターには、推定樹齢や樹高など、マザーツリーと比較した数値も掲載し、西目屋村内3箇所の観光施設に応募箱を設置したところ、200件近い応募をいただきました。西目屋村長と当署署長で審査を行い、①親しみやすく、呼びやすいこと、②木の姿を的確に表現していること、③白神山地のイメージに合っていること、④他に使用されていない名称であることという4つの観点から総合的に判断し、呼称を決定しました。新しい呼称は、西目屋小学校4

年生の門藤琳音さんから応募があった「いざないツリー」に「白神」を加え、「白神いざないツリー」とするとともに、マザーツリーの後継であることが分かるよう、「マザーツリー後継」と「冠」を付けて表記することとしました。「いざない」には招く、誘うという意味があり、このシンボルツリーをきっかけに白神山地に訪れてもらいたいという願いが込められています。また、外国人観光客に地元ガイド等が説明しやすいよう「Shirakami Welcome Tree」と英語表記も設けました。



マザーツリー後継「白神いざないツリー」(英語表記: Shirakami Welcome Tree)

おわりに

今後、「白神いざないツリー」が「マザーツリー」のように多くの方に親しまれる存在になるためには、多くの関係者による協力・連携が不可欠です。当署では、西目屋村をはじめ地元の関係機関と協力・連携し、地域の森林サービス産業のコンテンツの一つとして育てていきたいと考えています。

白神山地を訪れる際は、ぜひ「白神いざないツリー」にお立ち寄りください。なお、アクセス道である青森県道28号岩崎西目屋弘前線は、例年11月中旬から5月下旬まで冬季閉鎖期間となるため、お越しの際は道路情報をご確認下さい。

白神山地「マザーツリー」の
後継シンボルツリーの呼称募集!

2024年7月撮影
2023年10月撮影
2024年5月撮影

(参考)
枯死したマザーツリーの概要(現況)
所在地 青森県中津軽郡西目屋村
大字河原平 鬼川辺国有林 ※

樹種: ブナ
樹齢: 約400年(推定)
樹高: 約15m(H30折損前30m)
幹回り: 4.65m
胸高直径: 1.48m

後継シンボルツリーの概要
所在地 青森県中津軽郡西目屋村
大字河原平 鬼川辺国有林 ※

樹種: ブナ
樹齢: 約300年(推定)
樹高: 約27m
幹回り: 4.05m
胸高直径: 1.29m

※場所(位置)は現時点では非公表で、呼称決定後に発表します。このため、場所を問い合わせた
だいても、ご案内できないことをご了承ください。

募集期間: 令和6年9月23日(月)まで

東北森林管理局 津軽森林管理署
Tel: 050-3160-5870

○応募方法: チラシ下部応募用紙の投函(西目屋村内3カ所に応募
箱を設置)又は電子メール
○詳細はチラシをご覧ください。

※こちらの二次利用は、
白神山地から
電光メールでの応
答ができません。

募集したポスター